

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1271500397		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート茂原 ユニット1		
所在地	千葉県茂原市高師2144-11		
自己評価作成日	令和4年2月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	令和4年3月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出自粛が続いています。外食会に行けないため、行事食でかっぱ寿司の握り寿司、スシローのちらし寿司、助六弁当をテイクアウトして味わっていただいています。 毎月の季節の行事には、季節を感じて頂ける食材を使った食事を提供しています。 職員研修も毎月行い、スキルアップを目指しています。 感染症対策を徹底し、お客様・職員の健康管理を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>コロナ禍で外出行事や外食、地域行事への参加、買い物などこれまで日常的に取り組めていたことが制限される中、利用者への楽しみをどのように提供していくかを皆で考えホーム内での活動の充実化に努めています。食の楽しみに向けて、手作りおやつや、季節行事では行事食を提供して季節感を感じて頂けるように工夫しています。遠方への外出は難しいですがホーム周辺の散歩にお連れしたりお正月には近隣の神社まで小グループごとで初もうでに出かけるなど、感染対策を取ったうえで戸外に出かけられるように支援しています。各種の活動の様子はホームページのブログを通して定期的に発信しています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに ○ 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が ○ 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が ○ 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の社是、サービス宣言を踏まえ 事業所の「せんろはつづくよどこまでも」をサービススローガンとして全員で共有しています。	会社の社是、サービス方針、サービス宣言を拠点会議時に唱和するほか、事務所、職員の休憩室等に掲示し常時確認できる状態にしています。またホーム独自に「せんろはつづくよどこまでも」をスローガンに掲げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事食の昼食くやおやつを地域のお店からテイクアウトしたり、自治会のゴミステーションの清掃を毎週行っています。	今年度はコロナ禍の影響もあり、地域行事も中止となり地域との積極的な交流はできませんでしたが、地域のごみステーションの掃除を毎週行い地域貢献につなげるほか、地域の飲食店のデリバリーも効果的に活用しています。	地域の関係者等と築き上げてきた関係性が希薄化しないように、今できる関わり方を継続しながら、良好な関係が今後も継続できることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	随時、介護相談を受けています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	お客様の状況、活動報告をして、市の職員、民生委員、地域住民の方からのアドバイスをいただき取り入れています。また、意見交換、情報共有をしています。	運営推進会議は2か月毎、今年度はコロナ禍の影響もあり書面開催という形式で実施しています。利用者の状況やホームの運営状況、事前に収集した意見等を議事録にまとめて、地域代表者、建物オーナー、市の担当課等の関係者に送付しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議には毎回参加いただき、貴重なアドバイスや意見を頂いています。また、必要に応じて相談をしています。	運営上相談事が生じた際には、市の担当課へ連絡を入れて適切な指示を仰いでいます。水害指定地域であるため防災計画についても市へ提出しています。新型コロナウイルス対応ではアルコール消毒液などを無償で提供を受けています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全面の考慮から玄関の施錠は行っていません。身体拘束の研修を行い取り組んでいます。	2ヶ月毎の運営推進会議のなかで身体拘束廃止委員会を実施し不適切な対応が無いかについて協議を進めています。職員に対してもオンデマンド研修を通して身体拘束廃止に向けた研修を実施し全職員の意識を高めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修や、新人研修で虐待することによる弊害を学び防止に努めています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や後見人制度に関する制度をテーマにして研修を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に不明な点を残さないよう伺いながら、署名、捺印を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的にご家族様アンケートを実施しており、結果を公表し改善しています。日常生活の会話からお客様の意見を収集し、改善計画を作成し改善結果を報告しています。	家族へは定期的に「茂原だより」を送付しており、その中にアンケートなども入れて家族の要望などを定期的に確認しています。利用者本人からは日常会話から収集して日々の生活の中で反映させています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員に働き心地アンケートを年2回実施し、意見を聞いています。会議や、申し送りや発信する機会を設けています。営業部会議で意見を提案し、改善、反映させています。	ホーム内の会議や日々の申し送りなどを通して職員からの意見や要望を確認しています。利用者への支援や業務に関する内容が多く、職員の意見を踏まえて見直しなどに反映させています。また会社の従業員満足度調査も行い意向などを抽出しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格制度、資格段位制度を取り入れています。年2回の人事考課制度を導入しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理職、リーダー研修、新卒1から3年目の職員研修を本社で行っています。年2回ほめ達研修を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	営業を兼ねて同業者と交流し、情報交換を行っています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に、ご家族様に要望や背景の把握に努め、職員間で情報共有を行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	私たちが「できる事、できない事」をしっかりと伝えたくて、ご本人の望んでいる生活に近づけるようなプランを提案しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護サービスの種類や利用料をお知らせし、入居型サービスの対象者など判断材料の提供も行います。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や食事の準備をしたり、日常生活を共に行う事で信頼関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍の中で面会を遠慮されているご家族も多いです。月1回のお便りでお知らせしています。面会を希望されるご家族には、感染対策をとったうえで面会頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の中で面会を自粛される方が多いです。日常生活の様子をブログで発信しているので見てもらうよう伝えていきます。また、お電話でご様子をお知らせしています。	馴染みの人や場所との関係継続に向けて、コロナ禍により馴染みの場所への外出や家族との面会も控えているため、今年度は家族の方に年賀状を書き投函しています。家族からも好評を得ており、良い取り組みにつながっています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お角様同士が交流できるような場を設け、より良い関係が築けるよう支援しています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した後も気軽に連絡がいただけるような声かけをしています。その後の様子を伺い、個別相談等対応しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中でご本人の希望や関心事をくみ取るよう努めています。困難な場合は、ご家族様と相談して本人本位の支援に努めています。	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時に実施するアセスメントにおいて確認しています。抽出した意見や要望、課題等はケアプランに反映し日々の支援に反映できるように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族、関係者から 今までの生活歴を伺い、従来の生活から可能な限り続けていけるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録や申し送りで気が付いたことがあれば職員間で報告と現状把握、情報共有に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の要望を踏まえ、主治医、看護師、薬剤師と担当者会議等の場で話し合い、プランを作成しています。	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎短期目標を更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌にプラン実践状況を記録し、介護記録や関わり方の見直しに反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自費のサービスの多機能化に、可能な範囲で柔軟な対応をしていますが、できない部分もあります。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に積極的に参加、地域のお店に買い物や外食をしていましたが、コロナ禍の影響で出来ませんでした。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関については、入居前に説明させていただき、ご本人、ご家族様の要望に沿ってかかりつけ医を優先しています。かかりつけ医の紹介で専門医を受診することもあります。	提携先のクリニックによる往診を通して主治医と連携を図っています。往診以外にもスムーズに連絡が取れる体制を築き、利用者の体調変化時にも速やかに対応できることで、必要時に必要な医療を受けることができる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様の情報や気づきを、主治医や薬剤師に相談させていただいています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、担当医、看護師に病状や治療方針、退院後に注意することなどの退院カンファレンスを行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームとしてできる事とできない事を明確に説明し、ご本人、ご家族様が納得されたうえで、主治医を交えて今後のケアに向けての方針を検討しています。状況により入院のご案内をしています。	重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に説明しています。現状看取り支援は行っていませんが、重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修で救急救命、応急処置の仕方、AEDの使用方法を学び、緊急時に対応ができるようにしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っています。夜間を想定した避難訓練も行っています。社内研修では、避難経路の確認、消火器の設置場所の確認をしています。運営推進会議を通じて協力をお願いしています。	避難訓練については令和3年度は2月に火災を想定した訓練を実施しています。年度内にさらにもう一度予定しています。水害の被害状況もハザードマップで確認しています。地域の連携体制の再構築や事業継続計画の作成などを今後の課題としています。	今後に向けては、作成義務となった事業継続計画(BCP)についても段階的に準備を進め作成し、災害発生後における運営方針の明確化を期待します。

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室を訪問する際は、声かけさせていただいてます。お客様の人格を尊重し、プライドを傷つけないよう努め、羞恥心に配慮したサービスを行えるよう取り組んでいます。	利用者に対して不適切な対応にならないように、ホーム内でも接遇やプライバシー保護についての研修を取り入れ職員の意識を高めています。日々の支援も各居室への入室や利用者への言葉遣いなど職員一人ひとりが注意を払っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	やりたい事、できる事、行きたい場所、食べたい物など、一緒に考え自己決定できるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせた食事、入浴時間に変更して自由に過ごしていただき、外出支援もしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の衣類をご自分で選んでいただいたり、季節に合った洋服を提案してきていただいています。訪問美容でカットも行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様のリクエストなども反映し食事の楽しみに繋げています。食事前の準備や食後の片付けなどもお客様に声をかけ職員と一緒にしています。	事前の準備や食後の後片付けなども利用者へ声をかけ職員と一緒に準備等を進めています。日々の食事は湯煎タイプの食材を使用していますが、畑で育てた野菜を食事メニューに取り入れたり、季節ごとの行事食なども提供し食の楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考慮した食事を提供させて頂いています。水分は、1日1500ccを目安に提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、就寝時には、義歯洗浄を行っています。必要に応じて訪問歯科の受診、歯科医のアドバイスを頂いています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握して、トイレ誘導を行っています。布パンツの方もいます。	排泄については定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援しています。定時に声をかけることができおり、排泄の失敗などを防ぐことができます。排泄状況は個人日誌内に記録しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量や運動を取り入れています。排便スケールを用い、便の状態を観察し、主治医のアドバイスを頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	予定の曜日や時間はありますが、希望に沿った対応をしています。好みの入浴剤を使ったり、ゆず湯など、季節のお風呂を楽しんでいただいています。	入浴については週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助について事故が起きないように努めています。入浴中はマンツーマンでの対応のため利用者とのコミュニケーションを深める時間にもなっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースで過ごしていただき、居室の温度や明るさにも気を配り、寝具やパジャマなので安眠できるよう環境づくりを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医や薬剤師の指導のもと、服薬介助をしています。体調の変化が見られたときは、主治医や薬剤師に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりにあった役割をして頂いています。庭の草取りや掃除、洗濯物たたみ、将棋、CD鑑賞を楽しんでいます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	天気の良い日には、庭で日向ぼっこをしたり散歩に出かけています。	コロナ禍の影響もあり今年度は外出や外食行事は自粛しています。今年度はホーム内での生活がほとんどですが、天候の良い日には少人数でホーム周辺の散歩に出かけたり、お正月には近隣の神社まで少人数のグループで初もうでに出かけています。	

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	購入したい物がある場合は、お預かりしているお小遣いから、欲しいものを購入して本人に支払ってもらいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人、ご家族の希望に沿って支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔に努め、季節ごとに装飾を変えるなど工夫しています。	季節に合わせた装飾品を作り掲示するなど季節感が感じられるように各ユニットで工夫しています。掃除も日々徹底するほか毎週大掃除の時間を設けて整理整頓も徹底しています。消毒、換気もこまめに行い、感染予防対策も徹底しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子などを置き、自由に過ごしていただけるよう工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたものや、思い出の品を持ち込んでいただき、戸惑いなく過ごしていただけるよう工夫しています。	居室の掃除も定期的に行い清潔保持に努めるほか、居室内のレイアウトについても利用者、家族の意向を大切にしています。馴染み品の持ち込みを可能として居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員と一緒に階段昇降しています。トイレの案内を廊下に表示しわかりやすくしています。		